

# 豊かな自然を守る取り組み

一人ひとりの行動で、豊かな自然を次世代につないでいくことも「小さな親切」運動の大切な取り組みの一つです。

今年度ともに発足30周年を迎える静岡県本部（事務局：静銀総合サービス株）、山陰本部（事務局：山陰合同銀行）の自然を守る活動をご紹介します。



## 農林水産省も認定 棚田の自然と景観をいつまでも

棚田は単にお米を作るだけでなく、一時的に雨水を貯めることで洪水や土砂災害を防いでいるほか、多様な生物のすみかにもなっています。何より、棚田の景観は日本の原風景といえるほど美しいのですが、維持には手間がかかり、後継者不足などの理由で近年減少傾向が続いています。

静岡県本部では、棚田の豊かな自然と景観を守るため、松崎町と菊川市の2カ所で保全活動を続けてきました。参加者を募って田植えや稲刈りを行うほか、田んぼの生き物を観察するなど、生態系や生物多様性を学ぶ機会づくりも行っています。

5年前には、農水省による棚田保全プロジェクトのオフィシャルサポーターの認定を受けていますが、今年新たに「農山漁村振興への貢献活動に係る取組証明書」を取得。農山漁村とは、自然豊かで農林漁業が主な産業となっている地域のこと。こうした地域の活性化や課題解決に取り組む企業・団体を農水省が認定する制度がスタートし、同県本部のこれまでの活動が改めて評価されました。

国も認める同県本部の保全活動。今後も、郷土の自然や景観を次世代に残すため力を注いでいきます。



農水省より証明書を受け  
る静岡県本部・横山達也  
事務局長（右）

家族連れでの参加も多い  
棚田での田植え体験



## 森林とふれあう体験イベント開催

山陰両県（鳥根・鳥取）は、全国的に見ても国土に占める森林の割合が多い地域ですが、近年手入れ不足や病害虫の影響などにより荒廃が進んでいます。そこで、山陰合同銀行では他団体と連携し、「森林を守ろう！山陰ネットワーク会議」を立ち上げ、森林保全活動を展開しています。今年はその会議の設立20周年を記念して4月19日、「小さな親切」運動とのコラボイベントを開催しました。

イベント会場では「森林とともに生きるくらし」をテーマに、竹灯籠づくりや塗りなどの各種体験、自然の恵みから生まれた様々な商品の販売が行われ、来場者は楽しみながら森林の豊かさを体感していました。

また、『ドラえもん』のび太役でおなじみの声優・大原めぐみさんが紙芝居や絵本の読み聞かせを行い、子どもたちは大喜び。大原さんは、山陰本部主催の小学校での紙芝居上演（紙芝居キャラバン）にも毎年協力し、青少年の豊かな心づくりに貢献されています。

海岸清掃など環境美化にも力を入れる山陰本部。各種活動を通して、美しく豊かな未来づくりを目指します。



山陰ネットワーク  
会議の皆様



声優の大原めぐみさんによる読み聞かせ

